



# なすびの花



## 教育用マニュアル

今年の夏は『教育・訓練』をテーマに工場パトロールを行いました。

その中で、『新人教育のマニュアル』についての話題がもちあがり、製造課長のお話では、「新人教育マニュアルは、必要だと思うので、作成に取り組んでいる」ということでした。

製造工程では、半田ごてや、電動ドライバ―、圧着工具などといった治工具を使用している作業があります。

こういった治工具の使い方や、誤った使用方法による危険性などを、新しく入社された方々に、まずは周知する必要があるからです。

右記のような内容を指導した後、現場の作業指導書に沿って作業指導が行われます。

これまでの新人教育は、現場リーダーや長が口頭で教えて、作業者がメモに取って覚えたりと、OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)中心でしたが、そうすると教えたことに漏れがあったり、一通り教えたあとは、放置状態になってしまったりというデメリットがありました。

総務課などは、人事を担う部署なので、新規採用者全般に対しての、社内案内や、就業規則、安全衛生などの指導用マニュアルがあります。

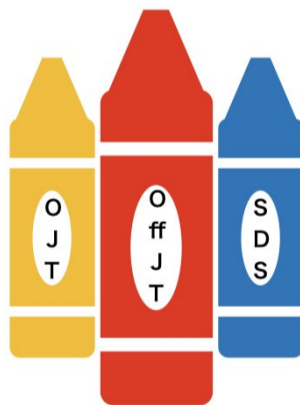
『新人教育マニュアル』が必要であっても、各部署において、状況が変わりゆく中、作業手順書の作成・改訂が優先となりますし、新人教育のための手順書の準備にまで、なかなか手が追いつかないのが現状ではないでしょうか。

機器操作などのマニュアルとは違い、新人教育マニュアルのような業務マニュアルは、なくても作業ができないわけではありません。

けれども、新人教育マニュアルがあれば、口頭だけでは忘れてしまうような事項を無くし、誰に対しても、同等の教育ができ、後から繰り返し中身を確認し、習熟度を上げることにも有効です。

また、仕事の質や判断のバラつきをなくしたり、指導にかかる時間を削減することもできるので、業務全体の効率も上がります。

作成する時には、業務の洗い出しや、整理など、時間も手間もかかりますが、一度作成しておく、部分的な更新だけすれば、半永久的に活用できますね。



## 11月は品質月間です

《2020年品質月間のテーマ》

**みんなでつくろう 新たな価値と 変化に負けない組織力**

11月1日～30日までの1か月間は、日本の品質のお祭りです。

11月号で触れる予定ですが、10月は、その準備期間として、「**作業の質**」「**人の質**」「**システムの質**」などの項目とそのつながりを社内定義し、**品質意識**を向上させて、**品質レベルの維持向上**を目指しましょう。



9月10月の工場パトロールのテーマは、

## 工場パトロールより

『防災・減災への取り組み』です。

9月10月は、台風や大雨による災害発生が起りやすいです。

災害を想定し、会社でも、様々な対応策を策定しています。

ここ数年、諸事情により、避難訓練の実施がありませんでしたので、避難手順を確認する機会もありませんでした。

品質環境マニュアルのファイルの「災害対策手順書」、「火災時行動手順書」の中に、フローがあり、役割分担が書かれています。

各部署長および担当者は、早急に、ハザードマップと併せて内容を確認し、自部署の従業員の避難経路や誘導方法を把握しておきましょう。

(昨年度に引き続き、営業部Hさんと検査課Nとで、今年度も毎月工場パトロールを実施いたします。)



「今度」ではなく「今すぐ」に!

# 防災・減災

非常用